

しえんだより



おはなしレター!

No.5



寒い日がまだまだ続きますが、少しずつ春の気配も感じるようになってきました。1年間、ありがとうございました。今年度最後のしえんだよりでは、改めて特別支援学校のセンター的機能についての話、校内で行われている支援の紹介などをさせていただきます。

えびな支援学校
連携支援グループ
相談支援チーム
令和7年3月13日(木)

特別支援学校のセンター的機能について

改めて…

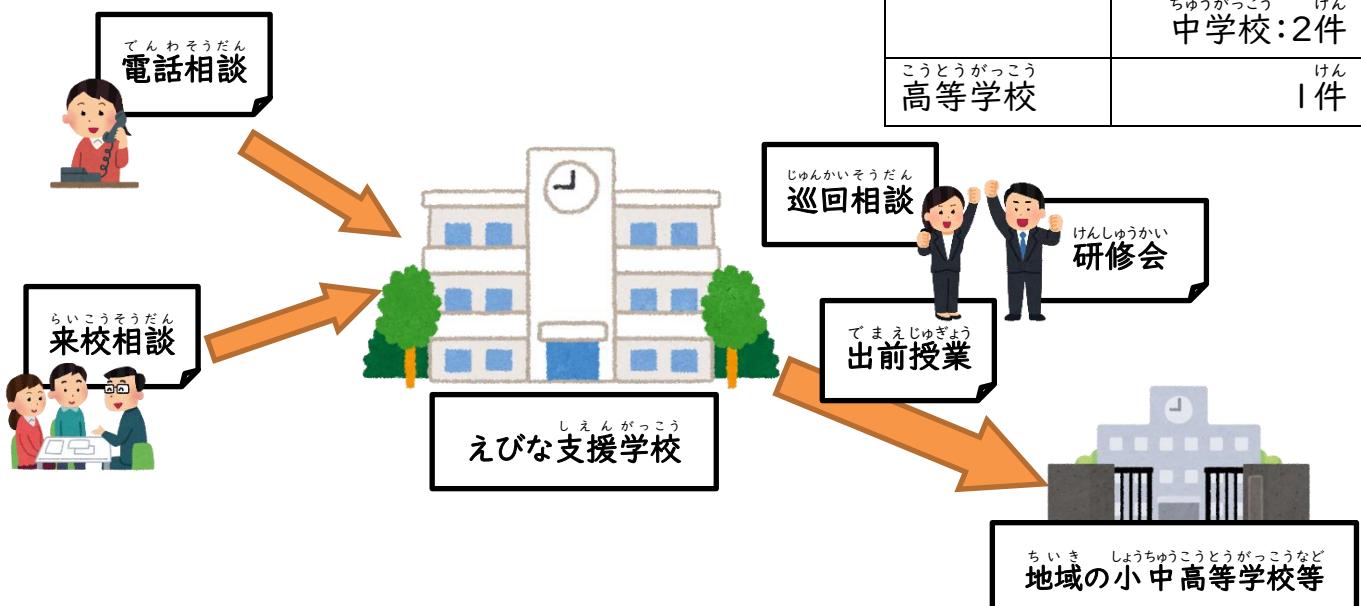
特別支援学校では、地域の特別支援教育のセンターとしての役割を担っています。

相談の機能として(電話、来校、巡回)があり、地域の学校の先生、保護者からの依頼を受けて本校の教員が対応しています。

他にも地域の先生方に対する研修協力機能もあり、先生方や介助員の方向けに研修会を実施しています。

居住地交流においても事前に児童生徒向けに出前授業を実施したり、内容の検討時に関わらせていただいたりすることもありました。

令和6年度巡回相談ケース数	
えびなし 海老名市	しょうがっこう 小学校:10件
	ちゅうがっこう 中学校:1件
あつぎし 厚木市	しょうがっこう 小学校:9件
	ちゅうがっこう 中学校:4件
あやせし 綾瀬市	しょうがっこう 小学校:7件
	ちゅうがっこう 中学校:2件
こうとうがっこう 高等学校	けん 1件



センター的機能を発揮するために、地域の学校との連携だけでなく、各市町村の教育委員会とも連携をしています。また、学校以外にも関係機関(児童相談所、相談支援事業所、放課後等デイサービス等)とも会議等を通じて連携し、日常的に情報共有等をさせていただいている。



引き続き、校内相談も行っています。日々の中で気になることがありましたら、
担任以外にも教育相談コーディネーター、専門職(理学療法士)にご相談ください。

PT



しょくばたいけん い 職場体験に行ってきました

こうどうぶ ねん
B高等部1年

3か所の企業にご協力をいただき、数名の生徒が職場体験に行ってきました。期間は2日間だけでしたが、実際に仕事を体験させていただき、働くことの大変さを感じていました。また、自分で作業した物が商品としてひとつの手に渡ったことを知り、人のために働くことへの喜びを感じる場面もありました。

体験した生徒の感想… 「品物を大切に扱うことが大事だということがわかった」

「野菜を袋にいれることができが、思ったよりも大変だった」

「働くことの楽しさを知ることができた」



しかくしえん 校内で見つけた! 『視覚支援』



支援学校では、一人ひとりに合ったサポートを行う際『視覚支援』を活用しています。視覚支援とは、見え方や認知の仕方に配慮し「情報を正しく、わかりやすく伝える」ための工夫のことです。この支援は視覚に困難がある人だけでなく、「文字を読むのが苦手」「口頭での説明だけでは理解しにくい」「見通しが立たないと不安になる」人などにもわかりやすく伝えることができ、安心できる環境づくりに役立ちます。また、先の見通しが立つと指示がなくても自分で動けるようになるため、視覚支援を活用することで自立を促すことにもつながります。ご家庭で簡単に取り入れられる視覚支援もたくさんあるので、参考にしてみてください。



ピクトグラムを活用した一日の
予定。全学部共通のものを使用
することで、学年が上がっても
わかりやすくなっています!



ロッカー、着替えを入れるかご、
椅子等、自分の場所をわかりやすく
するために 目印をつけました。ご
家庭でも、きょうだいで色やマーク
を変えるなど、工夫ができそうです。



見通しを持つために行き先を伝える
際に使用する場所カード、気持ちを伝
える(確認する)際に使うカードです。
穴を開けてカードリングにつけて持ち
運ぶ場合もあります。